

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年11月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様子を観察し、無理のない活動の提供や利用児の要望を取り入れた支援を心掛けています。	・支援担当だけでなく、複数の指導員での出迎えや明るい挨拶、気軽な声掛けなど安心できる雰囲気作りに努めています。 ・利用児の言葉に耳を傾け、気持ちを受け止め認めることを常に意識して対応しています。	・アセスメントツールや話し合いを用いて、本児の性格や課題の把握を深め、意欲的に取り組めるような支援をおこなっていくとともに、関係機関との連携を図っていきます。
2	・指導員の強みや得意を活かし、様々な支援を実施しています。また、「楽しい」と利用児が思っていたりするような内容を工夫しています。	・指導員の苦手なことをあえてプログラムに取り入れ、一緒に協力したり、「誰でも失敗することもある」「苦手なこともある」という安心感を与えたりすることができるようにしています。	・職員間での情報連携、支援内容のバリエーションを増やすなどチームとして療育の質を向上していくために、内部研修や職員間での支援見学などを実施しています。
3	・療育室が多く、1人ひとりに十分なスペースを提供し、個別の空間で安心して取り組めるようにしています。	・その日の活動内容によって使用する療育室を相談しあい、安全面に配慮しながら、落ち着いて過ごすことができるような配置を工夫しています。	・同室で実施する児が落ち着いて過ごせるような空間の工夫(パーティションの導入など)や身体にあった机、椅子、道具の提供をおこなっていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だとと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・特性や関係機関などについての専門的な知識を深めることにより、説得力のある助言を実施することができると思います。	・基礎知識を得る機会や、共通認識をもつ機会が少なかったと感じています。	・職員の経験や資格を活かした対応方法や基礎知識を学ぶ場を設けていきます。また、必要な資料を揃えていきます。
2	・保護者向けイベントや小集団活動を実施する機会が少ないと感じている。	・異動に伴う職員配置の変更があり、土台を培うことに尽力したため、十分な企画を立案することができなかったためと考えています。	・大きなイベントではなく、定期的に小規模での集団活動を計画に取り入れていきたいです。また、保護者の不安の軽減や居場所作りとしての企画を考えて実施していきます。
3	・誰が見ても分かりやすい環境の構造化、衛生面の向上。	・危険軽減のための配慮や、わかりやすい教材配置などの構造化ができていなかったためと考えています。また、こまめなゴミ捨てなど衛生面への意識が足りなかったと思います。	・構造化、衛生面などについて指導員間で共有し、1人ひとり意識を持ち、取り組みます。また、限られた環境でよりよい支援ができるよう工夫していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」磐田駅前校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 18

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	0	・言語聴覚士、作業療法士がいてくれたらとても助かります。	・9月より作業療法士が、配属になりました。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	4	0	2		・皆様にわかりやすい掲示、案内を実施できるよう努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2	0	0	・余分なものが置いてなくて、集中しやすい環境になっている。 ・運動活動の時には適当な場所とはいえないが、運動活動も大事にしてほしい。 ・ゴミ箱にゴミが残っていると子どもが触ってしまう（おもちゃをゴミ箱にいれてしまう）ことがあるので、できればこまめに（可能なら時間ごとに）回収して教室のゴミ箱にはゴミが無いようにしてもらえたら嬉しい。	・運動活動を実施する際は、机などを移動するなど安全に十分配慮しながら今後も実施していきます。また、環境設定についても利用児の様子などに配慮しながら改善をおこないます。 ・毎日の清掃に加え、消毒やゴミ捨てなど今まで以上に衛生面への意識をもって取り組んでいます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	1	0	・1対1で、本人の特性にあわせてすすめてもらえていると思う。 ・もう少し苦手な事も克服できるように働きかけをしてほしい。	・職員間での話し合いや保護者との連携を今まで以上に密にし、利用児1人ひとりの様子を把握しながら、本児に寄り添うことを前提とした上で、支援をしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	2	0	1		・保護者の方と面談や申し送り、職員の気づきなど、利用児の日々の様子から課題をみつけ支援計画を作成していきたいと思っています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	3	0	1	・担当者によって内容は違うが、毎回ひらがなや数字を覚えられるような支援をしてほしい。お楽しみの時間が多いいので…。	・利用児の様子や成長過程を考慮しながら、就学に向けたプログラム内容を取り入れていきたいと思っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	2	1	1	・担当者によって差がある感じがする。	・安定した支援を提供できるよう、内部研修や話し合いを通して技術向上などに努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	1	・色々楽しみながら学べるよう準備してくれているのは、ありがたい。	・これからも利用児が「楽しい」と思っていたりするような支援を提供できるように努めます。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1	4	1		・保護者の要望や園、地域の希望を考慮しながら、今後検討していきたいと思っています。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	1		・職員間での内容の理解に努め、より計画に沿った支援を提供できるようにします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	3	2		・現在は支援見学や個別面談の実施や、日々の申し送りにて助言等をさせていただいております。今後も、このような機会の周知や、企画を考えていきたいと思っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	3	1	2	・通い始めて2ヶ月弱なので、まだそのような機会はない。	・個別支援更新時の面談に加え、希望によっては個別面談も実施しております。また、支援見学も可能です。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0			

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	2	5	・イベントがある時に参加（兄弟も）しても大丈夫とは声をかけてもらえるが、きょうだい同士の交流という感じではない。（楽しんでいきます！）	・今後、要望を考慮して検討していきたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	1	・相談があると丁寧に聞いてくれる。管理責任者の方の知識やアドバイスが的確で助かります。 ・金曜利用で本人に疲れが見える時など、行きたくない感じもありますが、終わった時はいつも楽しく自信をもらえた表情があり、ほっとしています。	・今後も利用児、ご家庭に寄り添った支援を心掛けていきたいと思っています。また、様々な情報、助言を提供できるような努力していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	4		・月1回、防災訓練（災害・不審者など）を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	4		・年度当初に記入いただいた基本情報シート（緊急連絡先）をもとに対応させていただきます。また、日頃よりヒヤリハットなどを通して未然防止に努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	0	・当日の担当ではない指導員方も、玄関で出迎えて挨拶をしてくださることが嬉しい様子です。 ・不安が多い息子が安心できるように環境を整えていただき、ありがとうございます。	・ありがとうございます。個ではなくチームとして支援に携わっていくことができるよう、職員一同が意識して取り組んでいきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	・毎週楽しみにしている。 ・最初は怖い、嫌だと言ってましたがすぐにキラリが大好きになりました。 ・毎週楽しみにしています。	・ありがとうございます。今後も「楽しい！」という気持ちで通所いただけるよう、工夫していきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	4	0	1	・遊びメインの内容がほとんどなので、少し学習的な内容をやって欲しい。 ・マンツーマンでみていただいているのは、とても満足している。 ・いつも暖かい支援ありがとうございます。感謝しています。 ・支援には満足しているが、学校と情報共有してくれると助かります。	・利用児や保護者の要望を取り入れ、支援計画やプログラムを作成し、提供していきます。また、学校との連携についても相談支援事業所を通して、必要であればケース会議、サービ担当会議などを実施していきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・適切な広さを確保できるようにし、その日の活動内容に応じて使用する支援室を決めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・児童発達支援管理責任者1名(管理者兼務)、児童指導員3名、保育士1名、作業療法士1名が現在在籍しています。また、基準を遵守した人数を日々配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・流しには踏み台、トイレには補助便座、踏み台を設置し利用児が無理なく活動できるようにしています。また、階段には手すりが設置してあります。	・転倒の被害を最小限に防ぐため、フロアマットの設置など環境設定の改善
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日、清掃と消毒を実施しています。また、活動内容によって机を移動するなど環境づくりに配慮しています。	・こまめなゴミ捨てや消毒を徹底します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・利用児の様子を考慮し、使用する部屋を決めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・職員との定期的な面談を実施し、個別の目標などを共有しています。また、気づいたことがあれば職員で共有し、改善に努めています。	・個ではなくチームで取り組む意識、継続した療育提供の向上に努めていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・評価結果を職員間で共有し、検討した上で改善しています。また、日々の申し送りの際に話していただいたことを迅速に取り入れるようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・都度職員間で話し合い、業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	・現在実施しておりません。今後、実施の予定が決まり次第、保護者に周知します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・定期的な会社全体の内部研修、法定研修などに参加しています。また、校舎内でも研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・定期的なモニタリング、個別支援計画をもとに指導員が支援プログラムを作成している。また、申し送り時に内容説明を実施しています。	・個別支援計画の内容把握、質の安定した療育提供をしていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・職員間でのモニタリング会議や保護者との面談を通して、意向や発達段階を把握し必要な課題、ニーズを抽出した上で個別支援計画に反映しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・作成、更新の際にはモニタリング会議を実施し、児童発達支援管理責任者だけではなく、指導員の意見も取り入れ課題設定をおこなっています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・職員間で支援プログラムを相談しあい、確認をおこないながら支援を提供しています。また、意見交換も積極的におこなっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・社内で使用しているアセスメントシートの他に、発達支援評価ツールを使用し利用児の成長を把握しています。	・職員間での周知や確認がもっと必要だと感じています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・モニタリング会議等で優先順位などを話し合い、利用児の将来を見据えた課題、目標を共有しています。	・個別支援計画への理解を深め、課題の共通理解を今後もおこないます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・指導員1人ひとりの強みを大切にしながらも、本児の課題を踏まえた内容設定を実施しています。また、利用児に複数の指導員が支援をおこなっています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・都度、保護者の意見や利用児の意見を取り入れています。また、利用児が楽しいと思える内容を心がけています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・利用児のニーズに合わせて一緒に活動する機会を設けたり、イベントとして小集団活動を取り入れられています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・前回支援を実施した指導員への確認や、社内ツールを使用した情報伝達などを実施しています。	・毎日の申し送りや職員会議の定期実施など、情報伝達に漏れがないよう努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・同上	・同上
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・支援終了後に記録を作成、保存を実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に1回モニタリングをおこない、報告や意見交換をおこなっています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者と指導員1名でなるべく参加することができるよう努めています。また、難しい場合は事前に利用児について話し合い、参加した者が説明できるようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・ケース会議や保育園訪問、学校見学など保護者のご要望に応じて積極的に参加いたします。	・保護者への周知の必要性を感じています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	・相談支援事業所と相談し、事業所の併用などについて保護者にお話や助言をおこなっています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・保護者の要望に応じて取り組んでいます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2	・発達支援研究所より定期的実施される研修や事例検討会に参加し、助言をうけています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・保護者の意向を考慮した上で、地域との連携を図っていく必要性を感じています。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・支援後の申し送りに加えて、要望に応じて個別面談も実施しています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・支援見学や個別面談の際に、助言などを実施しています。	・保護者が参加できるような機会を設けていきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に説明をおこない、玄関にも掲示、閲覧できるようにしています。また、個別に質問があった際には都度、お答えしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・作成、更新の際には個別面談を実施し、意見交換や支援をおこなった上での課題などを共有しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	・面談をおこない、課題やニーズの共通理解を得てから、今後の支援について説明し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・半年に1回の面談の他に要望に応じて面談の時間を設けています。また、申し送り時に助言などを実施し、回答が難しい場合は一度職員間で話し合いを実施しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	・小集団イベントに、きょうだい児が参加する機会を設けています。	・ファミリーカフェなど保護者向けのイベント、交流を企画していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・来所時、電話、LINEなど相談や連絡方法を複数用意し、迅速に対応できるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・ブログやInstagram、LINEを利用し、日々の様子など情報発信をおこなっています。	・更新頻度や内容の充実をはかっていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・会社貸与のPCを使用し、書類なども退勤時にすべて鍵付きの書庫に保管しています。また、利用児の作成した制作も名前がわからないように掲示させていただいています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・本児の特性や発達に合わせ、視覚的な補足を入れるなど伝え方を配慮しています。	・利用児にとってわかりやすい活動表や視覚ツール(カードなど)を充実させていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・現在実施しておりません。今後、実施の予定が決まり次第、周知します。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、毎月1回防災訓練を実施しています。	・防災訓練内容の充実をはかります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・同上	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・年度当初、基本情報シートに記入いただき把握するとともに、変更など報告があった際には、情報の共有や基本情報シートの更新を実施しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・基本的に、飲食の提供は実施していないため、医師の指示書などはいただいておりますが、イベントなど必要な場合は確認をとり把握しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、毎月1回防災訓練を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・契約時に説明をおこない、実施した場合は保護者に周知をおこなっています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットを作成した際には、必ず防止策や改善策を指導員間で話し合っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・定期的な研修の他に、チェックシートを毎月実施し防止に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	・社内で決定した内容を契約時に説明し、同意を得てから実施しています。		